

議員提出議案

意見書(要旨)

第4回定例会では意見書4件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

独立行政法人都市再生機構の家賃改定ルール見直しに反対し、団地居住者が安心して住み続けられる家賃制度を求める意見書

1. 家賃引き上げ幅拡大、改定周期短縮等を策する家賃改定ルール見直しをやめ、機構法附決議、住宅セーフティネット法を遵守し、安心して住み続けられる家賃制度に改善すること。2. 低所得高齢者等への家賃減額処置の充実につとめ、高齢者、子育て世帯の居住の安定を図ること。3. 収益本位の団地統廃合ではなく、まず空き家を早期に解消するなど、都市機構住宅を公共住宅として守り、国民の住生活向上とコミュニティの形成に大いに役立てること。

内閣総理大臣ほか4件あて

「手話言語法(仮称)」の早期制定に関する意見書

2011年8月に「改正障害者基本法」が衆議院、参議院ともに全会一致で成立した。そこには「全ての障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通の為の手段についての選択の機会が確保されている」と定められている。

手話が音声言語と対等な言語(日本語)であることを広く国民に広め、あらゆる場面での手話による情報の提供・獲得が行われ、きこえない子供が、手話を身につけるとともに、手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を国は制定すること。

内閣総理大臣ほか5件あて

建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちに求めることを求める意見書

アスベスト被害は、多くの労働者、国民に広がっている。建物の改修、解体に伴うアスベストの飛散が発生しており大きな公害問題である。アスベストを原因とする疾患に苦しむ患者は、自ら落ち度もないのに命を落とし、残された家族の悲しみは底なしの深さである。国は、石綿被害者救済法を成立させたが極めて不十分なものである。よって、町田市議会は、建設アスベスト被害者と遺族の救済、アスベスト被害を根絶する対策を直ちに求めることを求める。

内閣総理大臣ほか6件あて

農業・農協改革に関する意見書

政府は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、様々な移行等の方針を打ち出している。今後、その方針に沿い農協改革を進めるに当たっては、本市における都市農業の振興を支え、重要な役割を担っていることを鑑み、農業者や農業団体など現場の意見及び地域の実情を十分に踏まえ、関連法案の改正等においては、特段の配慮を求めるものである。

内閣総理大臣ほか4件あて



本会議の質疑から

条例・その他

第110号

町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

議員 条例改正の目的・内容は何か。

環境資源部長 2016年度からリレーセンターみなみに容器包装プラスチックの圧縮、梱包施設を整備し、JR横浜線以南の地域で容器包装プラスチックの資源化を先行実施します。このため、新たに指定収集袋を使用して排出する家庭廃棄物に容器包装プ

ラスチックを加え、収集し、処分するために必要な袋の種類及び手数料に関する規定の項目を追加するものです。

議員 手数料を規定することだが、算出根拠はどのようにになっているか。

環境資源部長 可燃、不燃の指定収集袋の金額はコストから算出したものではなく、ごみの減量、資源化の観点で多摩地域の平均から価格設定をしているものです。プラスチックの袋も、この考えに準じて、適正に分別、排出していただくことに対する動機づけとして、可燃ごみ、不燃ごみ袋の半額というふうを考えています。

第115号

(仮称)町田地区子どもセンター新築工事請負契約

議員 設計の特徴は何か。

子ども生活部長 今までの子どもセンターに比べ床面積は2割程度大きなものになっており、中心市街地に立地するということから、子育て支援機能や中高生の利用を特に考えた施設となります。乳幼児親子に向けては、大きなテラス、カフェ、乳幼児専用スペースを一体的に配置しています。また、中学生に向けては、音楽スタジオを2カ所、視聴覚室としても使用できるダンススタジオを2カ所設置します。さらに、練習の成果を生かす自己実現の場となるよう、プレールームには常設のステージを設置し、中高生が自分たちでライブ等のイベントを容易に行うことができる仕様になっています。

議員 入札にあたっての取り組みは何か。

財務部長 本件は、市内事業者限定の条件つき一般競争

用語の解説

本文中の青文字の解説です。

○オフサイトミーティング 【3面】
仕事の場を離れ、時間外などに一箇所に集まって、気楽に真面目に仕事について話し合う場。

○ICT 【4面】
Information and Communication Technologyの略。コンピュータやインターネットなどの情報コミュニケーション技術のこと。

○パブリックコメント 【4面】
行政の重要な政策立案に当たり、政策形成に民意を反映し、その過程の公正性及び透明性を確保するため、事前に内容等を公表し、広く意見を求め、これを考慮してその決定を行う仕組み。

請願の審査状況

平成26年第4回定例会には10件の請願が提出され、継続審査となっていた1件とあわせて審査を行いました。結果、5件が採択、3件が不採択、3件が継続審査となりました。詳細は次のとおりです。

採択

○町田市役所に外国人支援部門の設立を求める請願
○家賃改定ルール見直しに反対し、安心して住み続けられる家賃制度を求める意見書の提出に関する請願

不採択

○手話言語法制定を求める意見書の提出に関する請願
○客引き行為撲滅に関する請願
○建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願

○「総合教育会議」の準備および「大綱」策定に関する請願

○介護保険料の負担軽減のための国庫負担引き上げを求める意見書を提出することを求める請願

○公立小学校の35人学級の継続を求める意見書を国および東京都に提出を求める請願

継続審査

請願の処理経過及び結果報告

平成26年第3回定例会において採択された請願について市長から処理経過及び結果について、次のとおり報告がありました。



スタンドパイプを自主防災会へ支給または貸与することにに関する請願

自主防災組織がスタンドパイプを導入する際の支援策については、2014年6月5日付で全自主防災組織に送付した意向調査結果を参考に、2015年度当初からの初期消火用スタンドパイプ購入経費を対象とした補助制度創設に向け、準備に取り組んでいるところです。